

平成 29 年 3 月 21 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行
三菱地所レジデンス株式会社
東急リバブル株式会社
凸版印刷株式会社

銀行業界初 「マイナンバーカード」を利用した住宅ローン契約電子化システムの運用開始 ～銀行と不動産会社が協働し、お客さまの負担を軽減～

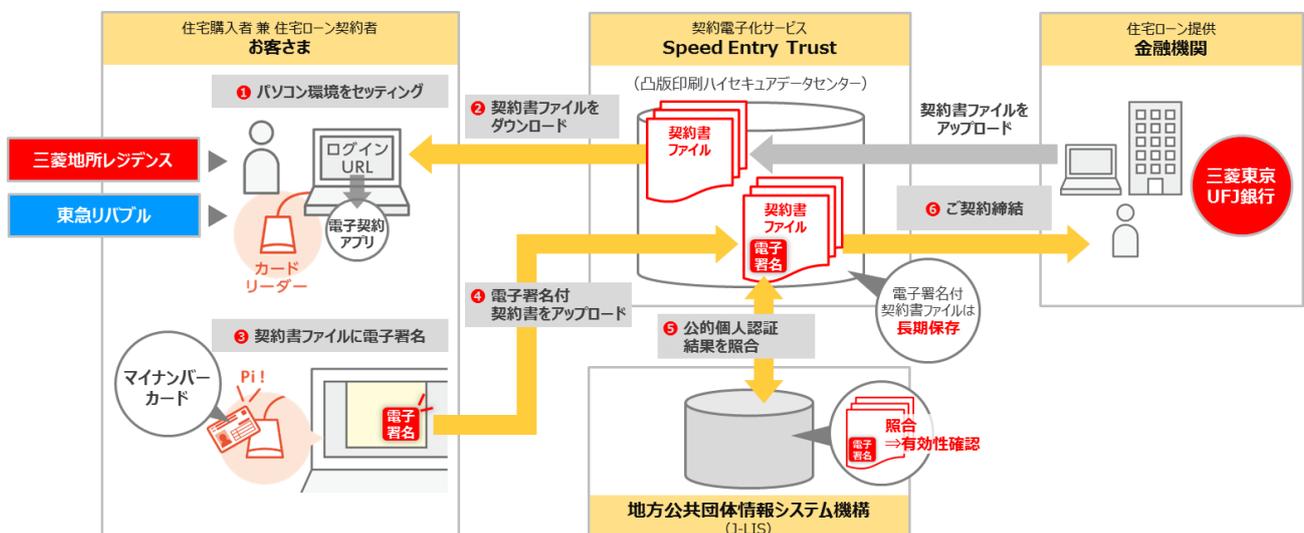
株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 おやまだ たかし 小山田 隆）、三菱地所レジデンス株式会社（取締役社長 おの まさみち 小野 真路）、東急リバブル株式会社（代表取締役社長 さかさ しんじ 榎 真二）、凸版印刷株式会社（代表取締役社長 かねこ しんご 金子 眞吾）は、マイナンバーカード*1 を利用した住宅ローン契約電子化システム（以下、本システム）の運用を平成 29 年 4 月下旬（予定）より開始いたします。本システムの運用には総務大臣認定の取得が必要となり、現在申請中です。

三菱東京 UFJ 銀行は、不動産購入に際し、住宅ローンを利用されるお客さまの利便性向上と負担軽減のため、平成 25 年から平成 27 年にかけて三菱地所レジデンス、東急リバブルと協働し、凸版印刷が開発したシステムを利用し、当時では初めて不動産デベロッパー・売買仲介業界で住宅ローンの事前審査をタブレット端末により受付を行うなど、積極的な ICT 活用を進めてまいりました。

このたび、三菱東京 UFJ 銀行は、住宅ローンの事前審査後の手続も電子化すべく、公的書類として全国的に普及が進むマイナンバーカードと、凸版印刷が新たに開発したサービス「Speed Entry Trust*2」を用い、お客さまのご自宅で、住宅ローンの全ての手続が完結する本システムの運用を開始いたします。

平成 29 年 4 月下旬より、三菱地所レジデンスの首都圏新規分譲物件及び、東急リバブル不動産売買仲介店舗の首都圏受付分を対象に開始し、順次拡大していく予定です。本システムを利用することで、紙面での手続に比べ、来店・書類記入・押印・印紙貼付*3 にかかるお客さまの負担が軽減されます。

【住宅ローン契約電子化システムのイメージ図】



【住宅ローン契約電子化システムによる変更点】

手続内容		現状	本件後
正式 申込	申込書	紙面記入・押印	ペーパーレス
	審査書類ご提出	コピー（紙面）	電子ファイルアップロード
	手続場所	銀行店舗	ご自宅（ご来店不要）
契約	契約書	紙面記入・押印	ペーパーレス
	印紙貼付	要	不要
	手続場所	銀行店舗	ご自宅（ご来店不要）

- *1 マイナンバーカードは、マイナンバー（個人番号）が記載された顔写真付の公的証明書です。
- *2 **Speed Entry Trust**（スピードエントリー・トラスト）は、凸版印刷と株式会社システムコンサルタント（代表取締役社長 きのした ひとし 木下 仁）が開発したシステムで、マイナンバーカードの機能を利用し、本人認証や電子署名機能を提供するサービスの総称です。
- *3 紙面の金銭消費貸借契約書は、借入金額に応じて所定の印紙貼付が必要となります。本システムをご利用の場合、印紙貼付は不要です。

以 上